

<令和4年度将棋同好会活動報告第二報>

令和4年7月20日

将棋同好会世話人

小黒光昭

(6月27日)

本日の参加者も固定メンバー3名。

○橋本-小黒戦 小黒の○

通常通り、相居飛車戦で、角交換型相腰掛銀での対決。橋本からの小黒の飛車のポーンを狙った角筋から小黒は早めに飛車をズラした攻め筋が功を奏し、先攻可能となり、敵陣を攻略した。途中、明快かつ型の良い即詰み筋を逃したものの大差であったため、逆転とはならず小黒がそのまま押し切った。小黒久しぶりの勝利。

○出井-小黒戦 出井の○

先月からの指掛け戦。出井の攻めがうまく行き始めた場面。小黒の受け手があまく、そのまま簡単に押し切られた。出井の振り飛車の強さが感じられた一戦。

○出井-橋本戦 出井の○

橋本の居飛車に対し、出井はまたも振り飛車穴熊作戦。今回もいつも通り橋本が専攻し、敵陣を撃破、圧倒的有利な状況を早期につくりあげた。しかしながら、対穴熊玉への早い攻略法がみつからず問題があったと思われ、てこずっている間に橋本玉への出井の攻めが追い付き、追い越されついには前2局と同様、出井の逆転勝ち（というより出井の思惑通り？）となった。

○プロ将棋界ニュース

- ・叡王戦挑戦で藤井叡王に3連敗で敗れた出口6段はその後、里見女流4冠にもある棋戦で敗れるなど、調子が戻っていない様子。名人への道筋である順位戦には初戦で勝っており、この戦いだけはがんばって現在のC1クラスからB2クラスへの昇級を本年度中に達成し早期にB1→A級（将棋界トップ10）を達成して頂きたいもの。C1クラスでは現在30数名在籍し、年間10局戦い上位3名がB2クラスに昇級できる。出口6段は6月、7月と

連勝しており、まだ負けはない。来年3月までの残8局に全力を尽くして頂きたい。

- ・前記里見女流4冠は、この出口6段からの勝利で自信がついたと見え、今までどの女性も達成したことがない「女性としての正式のプロ棋士」を目指し、「奨励会経由」以外のプロの道筋である、「編入試験」にチャレンジすることが表明された。既に編入試験受験資格は達成している。若手プロ4段5人と戦い、3勝でプロに編入される。なんとか合格していままで男性しかいなかった世界でも女性の活躍を見たいもの。里見さんは、奨励会経由の通常チャレンジでは、既に年齢制限で挫折されていた。

(7月25日)

新型コロナの第7次感染拡大がピークであり、高齢者群での重症化率が依然高位にある、などから我が将棋同好会としては7月度活動を自粛することとし、その旨 支部役員、行事企画委員会、カド事務局に連絡済み。

オンライン対局など、対面対局以外の活動方法の検討を具体化する必要があるかも。高橋支部長からもアドバイスを頂いている。

次回の活動は、問題なければ8月29日に予定。